

2021年4月28日

報道機関 各位

長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科長の北潔教授が 2021年「アジアの科学者100人」に選出

シンガポールの科学誌 Asian Scientist Magazine がこのほど発表した「アジアの科学者100人」の2021年版に、長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科長の北潔教授が選出されました。長崎大学からの選出は、初めてのこととなります。

今年で6回目となる「Asian Scientist 100」は、さまざまな科学分野における、アジア地域で最も優れた科学者の業績を称えるものです。選出には2020年に国内外の著名な賞を受賞していること、さらに、際立った科学的発見、あるいは学术界や産業界の発展への貢献などが条件とされています。

北教授は、熱帯医学・グローバルヘルス研究科長として、全国でもトップクラスとされる長崎大学における熱帯医学・感染症研究の一翼を担っています。2020年には、寄生虫など熱帯病原性微生物の生存および環境適応戦略の解明に関する研究により、日本学士院エジンバラ公賞を受賞しており、これが評価されての選出となりました。

さらに北教授は、抗マラリア薬として開発中の5-アミノレブリン酸(5-ALA)が新型コロナウイルス感染症(COVID-19)原因ウイルスの感染を抑制することを発見したことで知られ、治療薬候補として大きな期待を集めるなど、高い評価を得る研究を手掛けています。

(参考) Asian Scientist 100 <https://www.asianscientist.com/as100>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科(長崎市坂本1-12-4)

TEL: 095-819-7008(総務担当)

担当者: 熱帯医学・グローバルヘルス研究科長 教授 北 潔

E-mail: kitak@nagasaki-u.ac.jp